



PRESS RELEASE (2014/11/13)

応用生理人類学研究センター キックオフシンポジウム 『人間の生物学的資質に基づいた新たなテクノロジー社会のデザイン』

概要

九州大学大学院芸術工学研究院に新設した「応用生理人類学研究センター」のキックオフシンポジウムを平成 26 年 11 月 21 日（金）に開催します。「人間の生物学的資質に基づいた新たなテクノロジー社会のデザイン」と題し、既設の応用知覚科学研究センター、味覚・嗅覚センサ研究開発センター及び感性融合デザインセンターと合同で、安全で豊かな生活環境の構築のために果たすべき役割などを紹介します。

背景

技術・情報の飛躍的革新は生活を一見便利で快適にしていますが、一方でこれらの変化に人間が適応できずに、その歪みが健康リスク等の問題を引き起こしています。人とテクノロジーの共存は何時の時代でも常に求められる課題です。安全で豊かな生活環境の構築には、人間の本来有している生理機能や感覚特性に根差したテクノロジー社会の実現が求められます。そのためには人間を対象とした基礎研究だけではなく、その成果を土台にした応用研究が益々重要となっています。

内容

本シンポジウムでは、応用生理人類学研究センター設置の背景や研究内容について紹介します。また、学内の関連のある研究センターの紹介と今後期待される連携についても討論します。

日時：平成 26 年 11 月 21 日（金） 13:30～17:10（受付 13:10～）

場所：TKP ガーデンシティ天神

（福岡市中央区天神 2-14-8 福岡天神センタービル 8 階）

参加費：無料 ※申込不要

内容：13:30～13:40 センター長挨拶（綿貫 茂喜）

13:40～14:30 基調講演（勝浦 哲夫 千葉大学教授、日本生理人類学会会長）

14:40～15:25 センターの紹介

- ・環境適応研究部門（安河内 朗）
- ・アクティブライフ部門（村木 里志）
- ・ヒューマニティ部門（樋口 重和）
- ・レジリエンスデザイン部門（綿貫 茂喜）

15:45～16:30 関連研究センターの紹介

- ・味覚・嗅覚センサ研究開発センター（センター長 都甲 潔）
- ・感性融合デザインセンター（副センター長 矢向 正人）
- ・応用知覚科学研究センター（センター長 中島 祥好）

16:30～17:00 総合討論

17:00～17:10 閉会

効果

本シンポジウムは、九州大学の 3 つの研究センター（応用知覚科学研究センター、味覚・嗅覚センサ研究開発センター、感性融合デザインセンター）と合同で開催することにより、九州大学が進める人間の生理機能や感覚特性、感性、デザインに関する最新の研究成果とその応用事例などを総合的に知ることができます。

■今後の展開

安全で豊かな生活環境を実現するためには、産官学の様々な分野の連携が必要とされます。本シンポジウムをきっかけとして、産官学の連携が今まで以上に強化され、その成果を広く社会に還元していきます。

【お問い合わせ】

九州大学大学院芸術工学研究院
デザイン人間科学部門 教授 樋口重和
電話：092-553-4523（大橋キャンパス）
FAX：092-553-4523
Mail：higu-s@design.kyushu-u.ac.jp

応用生理人類学研究センター キックオフシンポジウム

人間の生物学的資質に基づいた
新たなテクノロジー社会のデザイン

日時

平成26年 **11月21日** 金

開催時間／13:30~17:10(受付13:10~)

参加
無料

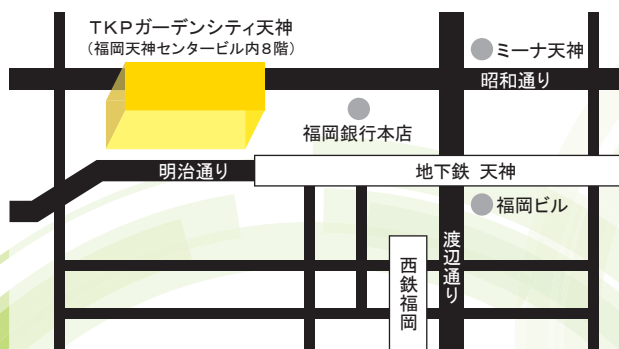
場所

TKPガーデンシティ天神

〒810-0001

福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル8F

地下鉄空港線「天神駅」1番出口直結



プログラム

13:30~13:40 / センター長挨拶 (綿貫茂喜)

13:40~14:30 / 基調講演

勝浦哲夫 (千葉大学教授、日本生理人類学会会長)

14:40~15:25 / センターの紹介

- ・環境適応研究部門 (安河内朗)
- ・アクティブライフ部門 (村木里志)
- ・ヒューマニティ部門 (樋口重和)
- ・レジリエンスデザイン部門 (綿貫茂喜)

15:45~16:30 / 関連研究センターの紹介

- ・味覚・嗅覚センサ研究開発センター (センター長 都甲潔)
- ・感性融合デザインセンター (副センター長 矢向正人)
- ・応用知覚科学研究センター (センター長 中島祥好)

16:30~17:00 / 総合討論

17:00~17:10 / 閉会